

令和7年度（小学校）出張出前授業の成果と今後の方向性

1 令和7年度 出前授業等実績一覧（当館HP公開題材「千葉市立郷土博物館 出前授業」で検索）

申込み学校名	題 材	実施日	参加人数	学級数
①松ヶ丘小学校3年	松ヶ丘地域の約80年の歴史の移り変わり (学区の歴史から、地域に目をむけたオリジナル授業)	6/18	58名	2学級
②千城台みらい小学校 3年	なぜ幕張ではにんじん作りが盛んになって いったのか (幕張にんじんの歴史をさぐる)	7/9	27名	1学級
③幕張小学校3年	江戸時代の青木昆陽から続く幕張とさつまい も普及の歴史 (さつまいも 250年の歩み)	9/5	56名	2学級
④松ヶ丘小学校3年	昔の道具によって変わってきた生活 (昔の道具をさわって動かして、昔の明かり体験も)	9/12	58名	2学級
⑤こてはし台小学校 6年	千葉常胤は、なぜ頼朝の味方をしたのだら うか (常胤の歴史を学び、開府900年を考 える)	9/26	43名	2学級
⑥鶴沢小学校6年	千葉常胤は、なぜ頼朝の味方をしたのだら うか (常胤の歴史を学び、開府900年を考 える)	10/21	73名	3学級
⑦千草台東小学校6年	鎌倉武士はどの様に戦っていたのだら うか (博物館の甲冑や弓矢を持ちこんでの 体験活動)	10/27	32名	1学級
⑧本町小学校年 3年	なぜ幕張ではにんじん作りが盛んになっ ていったのか (幕張にんじんの歴史をさ ぐる)	11/26	60名	2学級
⑨こてはし台小学校 3年	なぜ幕張ではにんじん作りが盛んになっ ていったのか (幕張にんじんの歴史をさ ぐる)	12/16	45名	2学級
⑩幸町第三小学校3年	昔の道具によって変わってきた生活 (昔の道具をさわって動かして、昔の明かり 体験も)	1/9	61名	2学級
⑪こてはし台小学校 3年	昔の道具によって変わってきた生活 (昔の道具をさわって動かして、昔の明かり 体験をする)	1/30	45名	2学級
⑫宮崎小学校3年	道具によって変わった私たちの生活 (昔の道具をさわって動かして、昔の明かり 体験をする)	2/4・5 2日間	131名	4学級
⑬検見川小学校3年	道具によって変わった私たちの生活 (昔の道具をさわって動かして、昔の明かり 体験をする)	3/4・6 2日間	113名	4学級
集計 学校数10校 学年数13学年	授業実施題材数 6題材 (HP公開題材数・・16題材中)	実施日 数16日	累計児童 数802名	実施学級 29学級

2 本年度の出前授業の成果

(1) 学校の要望に応じて「学校の約100年の歴史」を掘り起こしオリジナルの授業実践を行う

本年度も学校の依頼で、3年生総合的な学習「松ヶ丘地域と学校の80年の移り変わりの歴史を学ぶ学習」の授業を行った。この学習は、学校から提供された過去の周年記念誌等、及び博物館の資料の両方も生かして松ヶ丘地域に特化して教材化した授業内容であり、郷土博物館HPの学習プログラムにはないオリジナルの授業でした。

子供達は自分たちが住む地域は、千葉市が周辺の町や村をどんどん合併して千葉市が面積も人口も拡大する中で生まれた新しい地域であることを初めて知り、とても驚いていた。その結果、子供たちは自分の地域の歴史にとっても興味を持ち、改めて自分が住む地域に目を向けて、その後半年間かけて総合的な学習で自分の地域を調べ、地域の方々とも出会って聞き取り調査などを行うなど

充実した学習を重ねて発表会を行った。この事例は、出前授業が各学校の地域学習に役に立つことができた事例となった。来年度も「千葉開府 900 年」の学習のきっかけ作りとして、各学校の様々な要望に沿って千葉市各地域や各学校の歴史を掘り起こして教材化を試みながら、3 年生・4 年生の新しい地域学習の授業を行っていききたい。

(2) 「開府 900 年」に向けて、出前授業の中で様々な時代の千葉の歴史を学習に取り入れた

来年は「開府 900 年」の節目の年である。そこで出前授業でも、千葉氏だけに限らず様々な時代の千葉の歴史に興味を持ってもらうために授業内容に千葉の歴史を組み込みながら行った。例として①3 年生では江戸時代に青木昆陽から始まった「幕張とさつまいもの関わり」が、実は昭和の「幕張さつまいもでんぷん工場」とそれを原料とする食品加工工場まで約 250 年続いていたこと。

②6 年生では、当時弱い立場だった「源頼朝」を千葉常胤が味方をしなかったら、その後の日本の歴史はどうなっていったのか子供たち自身予想して考える等の授業を行った。子供達は教科書には出てこない千葉の知らない歴史にとっても興味を持ってくれて、昔の千葉と今の千葉がつながっていることを理解して、おどろいていた。

来年度も子供達が「千葉のまち 900 年の歴史」に興味を持って千葉のまちを好きになってもらい、千葉の歴史を自ら興味をもって調べていけるような授業を行いたい。

(3) 博物館の収蔵品を生かして、体験的な活動を多く取り入れた授業を行う

本年度も、博物館の収蔵品（武士の甲冑、昔の道具等）を活用した体験的学習の授業を多く行った。本年度は特に昔の道具の希望が多く、博物館の昔の道具をさわったり、動かしたりする活動が好評だった。また、同時に自作のあんどんを使った昔の明かり体験も子供たちは興味を持ってくれた。来年度も博物館所蔵の資料を生かした授業を行っていききたい。

3 出前授業の実施後の観点別の分析

(1) 本年度の出前授業申し込み学校は、今までとは異なる「新規申し込み学校」が多かった。

○博物館の出前授業は今年 6 年目を迎え、各小学校の申し込みの目的も様々な要望や広がりを見せてきている。

(2) 過去 5 年間の出前授業の申し込み学校数の変遷（1 校で複数校の申込みあり）

○出前授業の申し込み学校数は、令和 2 年度開始から 6 年間で安定して市内に広がっている。

○令和 2 年度～7 年度の 6 年間で、郷土博物館が出前授業を行った小学校の総数は 40 校になった。

これは、千葉市小学校総数 108 校中の約 37% である。（インターナショナルスクール含む）

(3) 出前授業実施した累積学級数の傾向（年間授業実施回数 29 回）

	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計数
令和 6 年度	1 4 学級	1 1 学級	0 学級	1 4 学級	3 9 学級
令和 7 年度	2 3 学級	0 学級	0 学級	6 学級	2 9 学級

○本年度授業実施学年は、3 年生・6 年生が多かった。

(4) 申し込み学年数の傾向（授業実施学年数 15 学年）

	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計数
令和 6 年度	6 学年	4 学年	0 学年	5 学年	1 5 学年
令和 7 年度	1 0 学年	0 学年	0 学年	3 学年	1 3 学年

○3 年は館内で所蔵の「昔の道具」・「幕張にんじん」、6 年は館内所蔵の甲冑を使った「鎌倉時代の武士の戦い方」と「開府 900 年」関連の千葉常胤の授業だった。特に 3 年生は、収蔵品を活用した体験活動の学習をしてほしいという申し込みが多く、豊富な収蔵資料がある博物館の長所を生かした学習を行うことができた。

(5) 出前授業や打合せのための学校訪問日数32日(年間授業日数16日)

- 本年度は、出前授業のための学校訪問日数は16日間で、令和6年度よりやや少なかった。授業を実施するためには必ず事前に学校を訪問して、担任の先生方の意向を聞き、指導案や資料や渡して授業内容を詳しく説明している。事前打合せを含めて1年間で32日間、各学校を訪問させていただいた。

4 出前授業後の教師や児童のアンケート調査より(1部抽出)

(1) 教師のアンケートより・当館の出前授業についての感想

- 地図や動画、パワーポイントや付箋など、様々な方法で授業していただき、自分の指導法の勉強にもなりました。
- 私自身には調べられないような地域の詳しい歴史を知ることができて、私もとても参考になりました。児童もとても興味を持って学習に取り組んでいました。
- 自分自身も出前授業に参加して、千葉の歴史の良さに触れることができて、とても良い経験になりました。また機会があれば出前授業を受けたいと思います。
- 教科書には載っていないような豊富な知識と、インパクトのある資料や教具を用意してくださりとても良かったです。
- 事前打ち合わせから授業終了までわかりやすく授業を組み立てて下さったので、子供たちは幕張とさつまいもについて、もっと知りたいという気持ちになりました。
- 歴史人物の思いを考えるとという学習が子供たちにとって、とても新鮮だった様です。私自身も、これからの授業の中で取り入れていきたいです。

(2) 児童のアンケートより・①歴史学習の意義や楽しさについて

- この千葉の宝の様な歴史がなくならないように、これからも広めていきたいと思った。(6年)
- 歴史は確かに昔のことですが、これからの自分の生活で多くの選択肢を持つためにも、歴史は知る必要があると思います。(6年)
- 歴史学習は、昔にどんな人がいたかを学ぶだけじゃなく、その人の考え方や生き方も学べるからとても役に立つと思います。(6年)
- 私が歴史学習を楽しみと思うのは、その人が人として成長していくおもしろさや、その出来事が変わっていく姿が好きだからです。(6年)
- 私の町は、昔からずっと歴史がつながってきたおかげで、今の町ができていることをたくさん聞くことができてうれしかった。(3年)
- ぼくは幕張が好きだったけれど、この学習をしてもっと幕張が好きになった。現代の幕張が昔の幕張からつながって残っているところがたくさんあって、すごいなと思った。(3年)

児童のアンケートより・②出前授業で学習して感じたことや、体験して楽しかったことについて

- 千葉900年の歴史を生きる代表者として、心強く生きたいと思います。これからは人の為に何かする時にはよく考えて行動していきたいです。(6年)
- 私は「開府900年」の歴史を受け継いで、未来の人にも教えていきたいと思いました。(6年)
- 昔の人がどんなのらしをしていたのか「すごくすごくわかった」ので、私はもっと勉強して何かを作る人になると決めた。(3年)
- 地域の知らないことがいっぱい聞けてうれしかった。もっと千葉市のことを知りたい。歴史はこんなに楽しいことがあるんだなと思いました。(3年)

5 本年度の課題と、次年度に向けての改善方針について

- (1) **「開府 900 年」に向けて魅力ある千葉の歴史を多く伝えるために、多様な授業開発に取り組みたい**
- 「千葉開府 900 年」に向けて千葉市の魅力ある歴史や文化を一人でも多くの子供達に伝え、千葉市のことが好きな将来の千葉市民を育てていきたい。その為に以下の 2 つを取り組みたい。
- ① 3 年～6 年の発達段階や教材に応じて教科書や副読本では登場しない、でも「知らないからこそ面白い」と思ってもらえるような各学年の千葉の歴史学習を考えていきたい。
- ② 特に 6 年生の歴史学習では、鎌倉時代の千葉常胤だけではなく、教科書でもほとんど取り上げていない江戸時代や、明治・大正・昭和の時代の千葉の歴史の授業づくりに取り組んでいきたい。そのために、リニューアルされた当館の展示物や資料を多く教材に取り入れていきたい。
- (2) **リニューアルした当館の展示資料を教材化して、様々な時代の千葉の歴史の授業を提案していきたい**
- リニューアル後の当館では、古代から現代までの千葉の通史が学ぶことができるようになった。この展示物や資料は、社会科や総合的な学習の授業で使える魅力的な素材が多くある。しかし、校外学習だけでは見学時間や学年によって十分理解できないことも考えられる。そこでこの展示物や資料を、学校の先生方にも授業の資料や授業構成のための教材としてぜひ利用していただきたい。そのために、当館の展示パネルを子供達にとって、より分かりやすく、親しみやすい内容で再構成した出前授業に取り組んだり、先生方自身が授業するために利用してもらえようような授業資料の提供や、先生方が行う授業作りの相談にも取り組んでいきたい。そして、当館のリニューアル展示によって生まれた新しい千葉の姿を広く学校や子供たちに広めていきたい。
- (3) **学校の様々要望に応じて、千葉市「各学校の地域学習」のサポートを充実していきたい。**
- 本年度も学校から「地域や学区に合わせた授業をしてくれませんか」「既存の学習プログラムには無いがこんな授業はできませんか」という要望であった。学校の要望のきっかけは授業研究・教員研修・学校行事ですが、そこで当館からは学校の要望を受け積極的に授業提案を行った。まだまだ取り上げている学区や地域は少ないが、3 年生だけでなく他学年も含めて地域学習へのサポートや、きっかけづくりを引き続き行っていきたい。